

日本教師教育学会 第25回研究大会

— 少子・人口減少社会に求められる学校と教師 —

プログラム



期日：2015年9月19日（土）～20日（日）

会場：信州大学教育学部

主催：日本教師教育学会

後援※：文部科学省，公益財団法人信濃教育会，
長野県教育委員会，長野市教育委員会，
信州大学教育学部

※申請中・予定を含む

【主な変更履歴】 ※大きな変更箇所は、本文中に赤字で示しています。

<第2版：8月13日>

○表紙等

- ・信州大学教育学部正門付近の写真を追加
- ・「実行委員長挨拶」と「大会テーマ設定の趣旨」のページを追加

○第10分科会

- ・10:50～11:40に梅澤収会員ほかの発表を追加
- ・総括討論を11:40～に変更

○課題研究Ⅲ

- ・登壇順（原稿掲載順）を変更

○全体

- ・氏名の表記（氏と名の間スペースを追加）など書式の統一

日本教師教育学会第 25 回研究大会実行委員長より（ご挨拶）

信州大学学術研究院教育学系 三崎 隆

このたび、日本教師教育学会第 25 回研究大会を、9 月 19 日（土）・20 日（日）の 2 日間に渡りまして、信州大学教育学部において開催させていただくこととなりました。信州大学は、長野県にある唯一の国立大学法人であり、松本市に本部キャンパスをおき、8 学部が県内 5 地区に分散する総合大学です。その中で、会場となる教育学部は最も北の「西長野キャンパス」に位置し、教員養成を中核とする学部教育と、大学院修士課程教育学研究科を有し、平成 28 年 4 月には教職大学院が開校される予定です。

さて、このたびは教師教育をめぐる今日の様々な課題に対して日頃から活発にかつ熱心に研究を進めておられる日本教師教育学会の研究大会を本学にて開催できますことを大変光栄に存じます。研究大会開催の機会をくださいましたことに心から感謝申し上げます。

本研究大会では、少子化・人口減少化が進む現在、これからの学校と教師に求められる役割を探り、日本の喫緊の課題となっている少子高齢社会における教育と教師教育のあり方を指向する機会を持ちたいと考えております。第一日目の公開シンポジウムでは、本研究大会のメイン・テーマを受けて、「少子・人口減少社会に求められる教育と教師教育のあり方」と題し、少子・人口減少社会に求められる地域政策や教育改革に先駆的に取り組んできた専門家、研究者、実践者を招聘しております。今後求められる教育と教師教育のあり方をどのようにとらえ、いかにして人口減少社会の中で教育実践をデザインしていくのかを議論したいと思っております。

また、課題研究は同一時間帯（2 日目午後）に 4 つの分科会に分かれて議論を展開いたします。それぞれのテーマは、特別課題研究が「震災・学校危機と教師教育」、課題研究Ⅰを「教師教育学の独自性と方法論研究」、課題研究Ⅱを「教師教育研究の国際化と比較研究の課題」、そして課題研究Ⅲを「教師教育における実践性と高度化」と設定しました。各視点から進められてきている研究課題に関しまして、その成果と課題をより広くより深く議論していただける場としてご活用いただけるよう実施いたします。課題研究に関する概要は会場の北校舎 2 階の展示スペースにて、初日より一部の分科会による資料展示が行われます。

そして、今大会では 2 日間で計 85 本の自由研究発表が予定されています。全国から多くの皆様方からの申し込みをいただきましたことに際し、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。また、ご多忙の中、分科会の司会をご快諾くださった会員の皆様にも心より感謝申し上げます。大会実行委員会としましては、分科会構成等に関しまして発表者のご要望やテーマ内容等を総合的に考慮して、できるかぎり分科会ごとの総括討議が充実するように組み合わせに意を尽くしたつもりですが、どうしても議論を絡めにくい分科会も生まれてまいります。その点に関しましては、司会者の皆様に臨機応変にご対応いただきたいと思います。

これらの他にも、ポスター発表、4 つのラウンド・テーブルが予定されています。いずれも興味深い内容がエントリーされました。ご参加いただく皆様方による闊達な議論により、充実した研究大会にしていただけることを心より願っております。私どもの気づかない点でもいろいろ行き届かないことが多々あるかと思いますが、お気軽にご意見ご要望をご連絡いただければ幸いです。

最後になりましたが、会場となります本学教育学部キャンパスは善光寺に近く、歴史と文化の薫り高い門前町の町並みに繋がっております。学会にご参加いただいて、信州の歴史と文化、そして秋の味覚をお楽しみいただけることを願っております。より多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日本教師教育学会第 25 回研究大会

大会テーマ「少子・人口減少社会に求められる学校と教師」

【テーマ設定の趣旨】

1900 年当時 4,385 万人だったわが国の人口は、2000 年までの 1 世紀間に 3 倍（12,669 万人）に急増しましたが、2100 年までの 1 世紀間に 3 分の 1（4,771 万人）に急減する人口減少社会になると予想されています。特に、平成 17 年から総人口が減少し始めたことで、高齢化問題と共に少子化問題も重要な政治課題となってきました。現在の小学生が働き盛りの年齢に到達する 2040 年頃には日本の高齢化率は 36% を超え、15 歳以上の働き手 1.5 人で 1 人の高齢者を支えるという高齢社会になり、日本の国家財政の膨大な累積債務は、人口がさらに減り続ける将来世代に重くのしかかることとなります。また、人口減少と並行して人口の三大都市圏への集中も進み、一方の中山間地では過疎化が深刻な状況になっています。

例えば長野県では、77 市町村のうち小・中学校が 1 校ずつしか設置されていない自治体はすでに 24 町村にのぼりますが、地理的条件からこれ以上の統廃合が不可能な地域も多く、学校の小規模化・少人数学級は確実に増えていくこととなります。

一方、教員免許の課程認定を受ける高等教育機関は毎年増え続け、それに応じた教職課程の授業と教育実習が展開されているものの、実際に教員になる人は毎年免許取得者の 1 割程度でしかありません。少子化が進むことで、教員養成や採用のあり方にも何らかの対応が迫られてくるものと思われます。

本大会では、以上のような現状認識に基づき、大会テーマを「少子・人口減少社会に求められる学校と教師」としました。人口減少社会という枠組みの変化に即して、教員養成段階の法的基準やカリキュラム、教員採用のシステム、教員研修のあり方など様々な側面から見直しが迫られることを想定して、公開シンポジウムのテーマを「少子・人口減少社会に求められる教育と教師教育のあり方」としました。地域の人材育成や政策立案の分野で注目されている青山社中 CEO の朝比奈氏をはじめ、地元長野県の中山間地で 1 中学校と 5 小学校を統合して小中一貫校を設立するプロセスに中心となって尽力された信濃小中学校の峯村校長、長野県教育委員会で少子化の問題に取り組む義務教育課の三輪指導主事の計 3 名にご登壇いただきます。指定討論者には、へき地教育に関して多くのご研究を発表しておられる北海道教育大学の玉井教授にお願いしました。それぞれの立場で人口減少社会に求められる学校と教師についてお話いただき、小規模校・少人数学級という現実はどう向き合うかを議論する機会としたいと思います。どうぞふるってご参加ください。

日本教師教育学会第 25 回研究大会

1. 大会テーマ, 主催・後援

大会テーマ：「少子・人口減少社会に求められる学校と教師」

主 催：日本教師教育学会

後 援：文部科学省，公益財団法人信濃教育会，長野県教育委員会，
長野市教育委員会，信州大学教育学部 ※申請中・予定を含む

2. 大会日程・会場

前 日：2015（平成 27）年 9 月 18 日（金） 於：善光寺宿坊「常智院」

〒380-0851 長野県長野市元善町 478 電話 026-235-4012

14：30～ 年報編集委員会

17：00～ 新旧合同全国理事会

第 1 日：2015（平成 27）年 9 月 19 日（土） 於：信州大学教育学部

第 2 日：2015（平成 27）年 9 月 20 日（日） 於：信州大学教育学部

信州大学教育学部（国立大学法人信州大学 長野（教育）キャンパス）

〒380-8544 長野県長野市西長野 6-1

第 1 日 9 月 19 日（土）		第 2 日 9 月 20 日（日）	
8：30～	受付開始	8：30～	受付開始
9：00～12：00	自由研究発表（1） 第 1～第 10 分科会	9：00～12：00	自由研究発表（2） 第 11～第 20 分科会
12：00～13：00	昼食（生協食堂等）	12：00～13：00	昼食（生協食堂等）
13：00～14：00	定期総会	13：00～16：00	課題研究 I～III， 特別課題研究
14：10～17：00	公開シンポジウム	16：15～17：45	ラウンドテーブル I～IV
17：15～19：15	情報交換会		

北校舎（N館） 課題研究，自由研究発表，ポスター発表，ラウンドテーブル

東校舎（E館） 公開シンポジウム，定期総会

図書館 情報交換会

泉会館 生協食堂，売店，自動販売機

※自家用車でのご来場はできるだけご遠慮ください。

※同じ長野市内に工学部等がある長野（若里）キャンパスがあります。ご注意ください。



アルピコバス

- 1) JR 長野駅善光寺口を出て、①番乗り場から、「善光寺大門行き」、「善光寺経由宇木行き」、「善光寺・西条経由若槻東条行き」、「善光寺・若槻団地経由若槻東条行き」のいずれかに乗車(約10分)、バス停「花の小路」下車して進行方向にある「大門」交差点を左折し、徒歩5分(約300m)西へ直進すると右側に長野(教育)キャンパスがあります。片道150円(大人)です。
- 2) JR 長野駅善光寺口を出て、⑦番乗り場から、「県道経由戸隠中社行き」、「鬼無里行き」、「川後経由滝屋行き」のいずれかに乗車(10分)、バス停「信大教育学部前」下車して道路を挟んで正面に長野(教育)キャンパスがあります。片道150円(大人)です。

ぐるりん号

- 1) JR 長野駅善光寺口を出て、④番乗り場から、中心市街地循環バス『ぐるりん号』に乗車(10分)、バス停「信大教育学部前」下車して道路を挟んで正面に長野(教育)キャンパスがあります。乗車1回150円(大人)です。

※JR 長野駅善光寺口を出て、⑦番乗り場からも中心市街地循環バス『ぐるりん号』に乗車できますが、その場合は、バス停「信大教育学部前」を通りません。

※いずれも、次のWebサイトから、バス時刻表をご確認ください。

http://www.alpico.co.jp/access/station/nagano_sta_new.html

3. 研究大会参加費・情報交換会参加費について

研究大会参加費・情報交換会費は以下のとおりです。

学生・院生の参加費の適用は、専任として所属機関のない学生・院生の場合に限ります。

参加費		研究大会	情報交換会
会員	一般	2,000 円	3,000 円
	学生・院生	1,000 円	2,000 円
非会員	一般	2,500 円	3,000 円
	学生・院生	1,500 円	2,000 円

4. 大会参加について

① 参加費等の支払いについて

本大会では、事前申し込みは設定していません。大会参加と情報交換会の受付は、両日とも午前 8 時 30 分から行います。

② 昼食について

両日とも 11:30～13:00 に生協食堂が臨時営業いたします。また売店は、10:30～14:30 に営業いたします。その他、飲み物の自動販売機は随時利用可能です。

昼食を持参された方は、会員控室 (N204) または各分科会会場 (北校舎講義棟) でご利用ください。なお、大学に隣接したコンビニエンスストアはありませんが、大学正門を出た道を西に向かって徒歩約 5 分の場所に大手コンビニエンスストアが、大学北門を出て 5 分の場所に食料品のコンビニエンスストアがあります。その他、徒歩 15 分圏内にも昼食をとれるお店がたくさんありますが、観光客で混雑が予想されるため、大学生協を利用されることをおすすめいたします。

ゴミは、各階設置のゴミ箱あるいはゴミ袋へお願いします。信州大学はエコキャンパスをすすめておりますので、分別回収へのご協力をお願いいたします。ペットボトルは、ラベルをはがしてから、ペットボトル用回収箱に入れてください。

③ 学会費の納入について

2015 年度及び過年度の学会費の納入は、大会までにお済ませいただきますようお願いいたします。諸事情で納入がお済みでない会員の方は、当日、学会事務局受付において納入をお願いします。

④ その他

喫煙は指定場所で行います。大学内では指定の場所以外は、すべて禁煙となっておりますので、ご協力をお願いします。

5. 発表会場の機材について

- すべての発表会場に、液晶プロジェクタとスクリーンが設置されています。
- 入力ケーブルは、アナログVGA仕様（D-SUB15ピン）です。
- HDMI等の出力端子のパソコンをご使用の方は、ご自身で変換アダプタを準備されるなどの対応をお願いします。
- Mac（iPadを含む）、Microsoft Surface、タブレット、ミニノート等を使って発表する方は、ご自身でVGAディスプレイアダプタをご持参ください。
- コンピュータは準備していません。各自でご持参ください。
※ソフトウェア（Word, PowerPoint, Acrobat等）のバージョンにより、表示がずれる場合がありますので、大会実行委員会では用意しませんことをご了解ください。
- 発表者は、打合せ前や休憩時間などに、各自で使用機器の接続などについて事前にチェックしてください。準備時間も発表時間に含まれます。
- コンピュータから音声を出力する場合は、スピーカーを各自でご持参ください。
- 有線・無線とも、インターネットにアクセスできる環境は用意されておりません。必要な方は、Wifiルータ等を各自ご持参ください。
- DVDやVHS等のビデオデッキは、ご希望がありませんでしたので、用意いたしません。再生の必要がある方は、コンピュータの内蔵ドライブをご使用ください。

6. 自由研究発表について

- 個人研究発表の発表時間は30分（発表20分、質疑10分）、共同研究発表は50分（発表35分、質疑15分）です。共同研究であっても口頭発表者が1人の場合は、個人研究発表と同じ30分です。
- 各分科会とも、発表と質疑の終了後、残り時間に応じて（最長で12:00まで）総括討議を行います。原則として、発表者は総括討議が終了するまで分科会会場に在席してください。事情で途中退席される予定の発表者は、事前に司会者にその旨を伝えておいてください。
- 発表者は、分科会の開始10分前に、発表会場で司会者と簡単な打ち合わせを行いますので、各分科会の会場にご集合ください。
- 配付資料は、各自で70部を目安に印刷・コピーしてご持参ください。大会実行委員会では印刷・コピーは致しません。発表当日に各分科会教室入口に置いてください。資料の残部は、当日の自由研究発表終了後、3階階段脇のオープンスペースに特設した「論文交換コーナー」に置きますのでご活用ください。全日程終了後に処分いたします。
- 発表者の方は、発表要旨集の原稿の作成・提出をお願いします。詳細は大会ホームページをご覧ください。締切は2015年8月10日（月）必着です。

7. 定期総会

9月19日（土）13：00から，東校舎5階のE504教室で行います。

会員のみなさまの参加をお願いいたします。

8. 公開シンポジウム 9月19日（土）14：10～17：00，於：東校舎 E504 教室

【テーマ】 少子・人口減少社会に求められる教育と教師教育のあり方

【提案者】 峯村 均（長野県上水内郡信濃町立信濃小中学校長）

朝比奈一郎（青山社中（株）CEO）

三輪 晋一（長野県教育委員会義務教育課主幹指導主事）

【指定討論者】 玉井 康之（北海道教育大学釧路校教授）

【コーディネーター】 伏木 久始（信州大学学術研究院教育学系教授）

※当日，提案者，指定討論者，コーディネーターとの打合せを行いますので，12：10までに，東校舎 E503 にお集まりください。

9. 課題研究，特別課題研究 9月20日（日）13：00～16：00

【課題研究Ⅰ】 教師教育学の独自性と方法論研究

（於：北校舎講義棟 N101 教室）

【課題研究Ⅱ】 教師教育研究の国際化と比較研究の課題

（於：北校舎講義棟 N201 教室）

【課題研究Ⅲ】 教師教育における実践性と高度化

（於：北校舎講義棟 N301 教室）

【特別課題研究】 震災・学校危機と教師教育

（於：北校舎講義棟 N203 教室）

○ 当日，司会者と報告者との打合せを行いますので，12：10までに，各教室にお集まりください。

○ 課題研究及び特別課題研究の報告者の方は，発表要旨集の原稿の作成・提出をお願いします。

詳細は大会ホームページをご覧ください。締め切りは8月10日（月）です。

○ 当日配布資料がある場合は，事前に大会実行委員会にご相談ください。

10. **ラウンドテーブル** 9月20日(日) 16:15~17:45
- 【テーブルⅠ】 震災・学校危機と教師教育
 -課題から学び, どのように展望をつくるか-
 (於: 北校舎講義棟 N203 教室)
- 【テーブルⅡ】 高等学校における授業研究がもたらす新任教師の変容
 (於: 北校舎講義棟 N102 教室)
- 【テーブルⅢ】 リアリスティックアプローチによる教師教育の実践
 -大阪樟蔭女子大学の事例を中心として-
 (於: 北校舎講義棟 N202 教室)
- 【テーブルⅣ】 教員養成における交流人事教員の役割
 (於: 北校舎講義棟 N302 教室)

○ 大会2日目午後の課題研究及び特別課題研究の終了後, 16:15~17:45の時間帯で, 教師教育に関する自由な研究交流の広場(ラウンドテーブル)を設定します。申込者は16:15から各会場で開始できるように, 準備をお願いします。

11. **ポスター発表** 於: 北校舎講義棟3階オープンスペース
 大会参加者は大会中に自由にご覧ください。

12. **論文交換コーナー** 於: 北校舎講義棟3階オープンスペース
 本大会でも, 大会期間中に会員の皆様の執筆された論文を交換していただくコーナーを設けます。ご自身の論文・報告書等の配布を希望される方は, 大会会場にお持ちいただき, 各自で同コーナーに置いてください。論文を入手されたい方は, お立ち寄りください。

13. **情報交換会** 9月19日(土) 17:15~19:15, 於: 図書館2階視聴覚講義室
 会員相互の情報交換と親睦を深めるため, 1日目の夕方に, 信州大学教育学部キャンパス内の図書館2階視聴覚講義室にて情報交換会を開催します。地元産のワインや日本酒をはじめ, 各種お飲み物をご用意いたしますので, 秋の信州の味覚を楽しんでいただきながら, 交流を深めていただければ幸いです。多数のご参加をお待ちしております。

【参加費】 会員(一般) : 3,000円
 学生会員 : 2,000円
 非会員(一般) : 3,000円
 学生非会員 : 2,000円

※学生(院生を含む)の参加費の適用は, 専任として所属機関のない学生・院生の場合に限ります。

14. ベビーシッター（事前申込制…締め切りは9月15日）

今大会では、小さなお子様をおもちの会員にもご参加いただけるよう、両日とも8:30から17:30まで、ベビーシッター（有資格者2名）とサポーター役の学生が待機し、お子さんをお預かりできるようにしました。ご希望の方は大会実行委員会まで事前にお申込みください。利用料は半日の場合は500円、一日（午前・午後）の場合は1,000円とします。

ご連絡をいただいた方には申込用紙を返送いたしますので、必要事項をご記入いただいで速やかにご返送ください。 お申込み受付→ jsste25@gmail.com（大会実行委員会）

15. 大会前日の理事会等のご案内

(1) 年報編集委員会

9月18日（金）14:30から、善光寺宿坊「常智院」にて開催いたします。

(2) 新旧合同全国理事会

9月18日（金）17:00から、善光寺宿坊「常智院」にて開催いたします。

※善光寺宿坊「常智院」へのアクセス

JR長野駅からバスで10分:「善光寺大門」下車→徒歩約4分の善光寺参道脇にあります。

以下のURLにアクセスしてご確認ください。 <http://www.jochi-in.or.jp/access/index.php>

16. 宿泊のご予約について

本大会期間中に長野市内で開催予定の大きなイベントが重なっていることから、宿が非常にとりにくくなっております。本大会実行委員会で確保したホテルはまだ空室がありますので、必要な方は大会 Web サイトにアクセスしていただき、8月21日（金）までにお申し込みください。それ以降は、各自でご手配ください。

17. 連絡先

第25回研究大会 Web サイト <http://fkevin.jp/jsste25/>

研究大会に関するお問い合わせは、実行委員会までメールでお願いします。

大会実行委員会・事務局	E-mail : jsste25@gmail.com
-------------	---

◎大会実行委員長 信州大学学術研究院教育学系教授 三崎 隆

○大会事務局長 信州大学学術研究院教育学系教授 伏木 久始

TEL : 026-238-4220（伏木研究室直通, FAX 自動切替）

※8/3~8/17は海外出張等で不在ですがメールでは対応可能です。

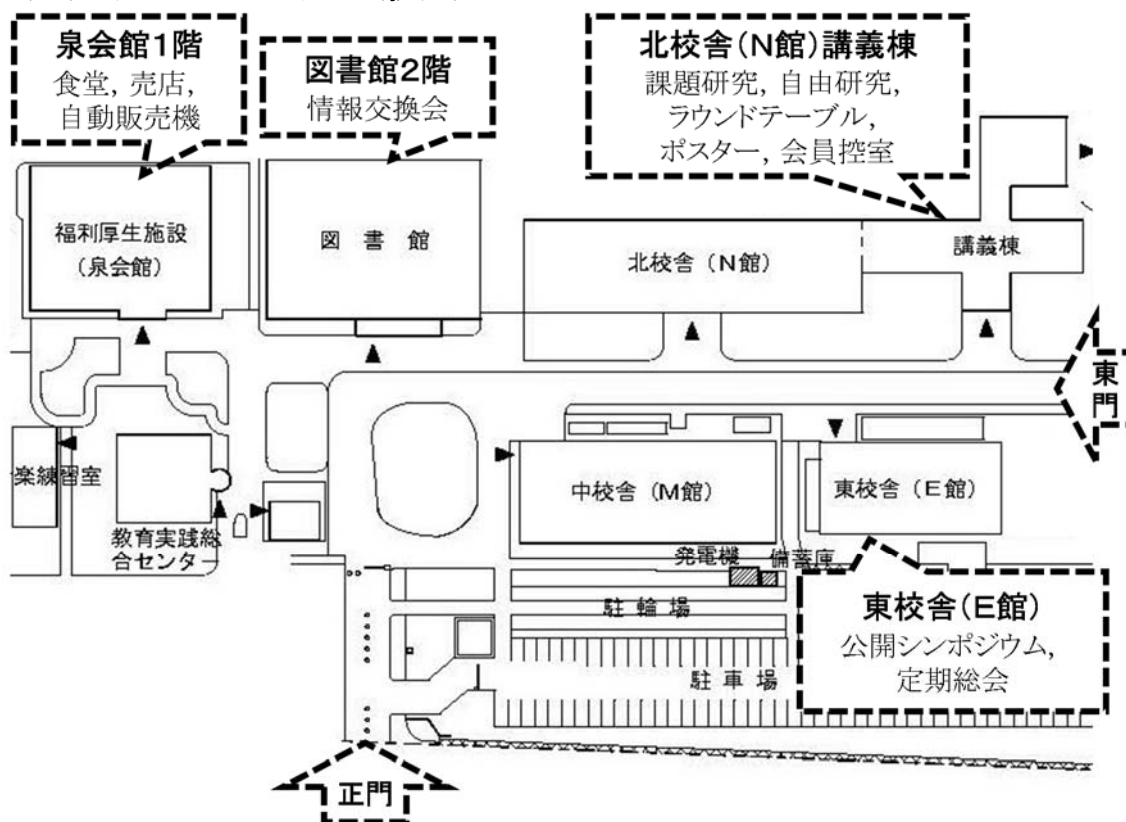
【会場案内】

(1) キャンパスマップ

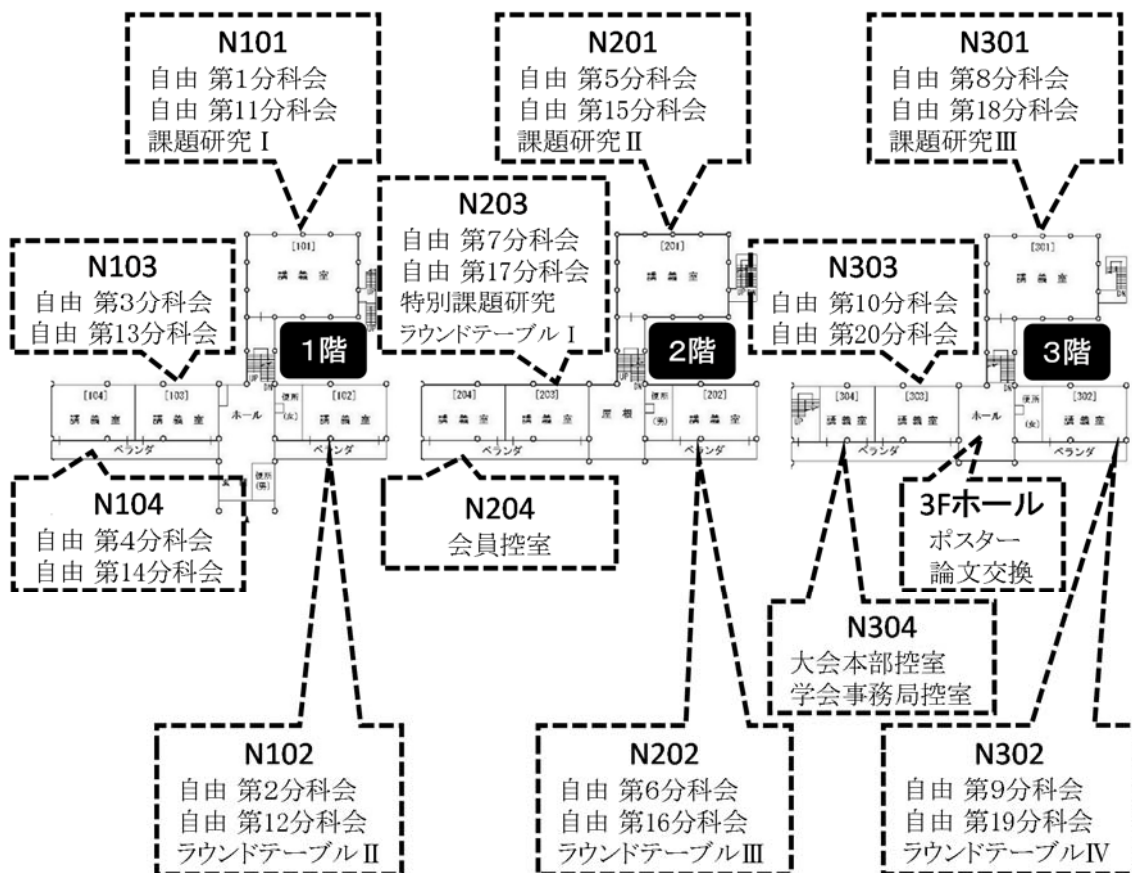


- ③ 東校舎 (E館) 公開シンポジウム, 定期総会
- ⑤ 北校舎 (N館) 課題研究, 自由研究発表, ポスター発表, ラウンドテーブル
- ⑥ 図書館 情報交換会
- ⑦ 泉会館 生協食堂, 売店, 自動販売機

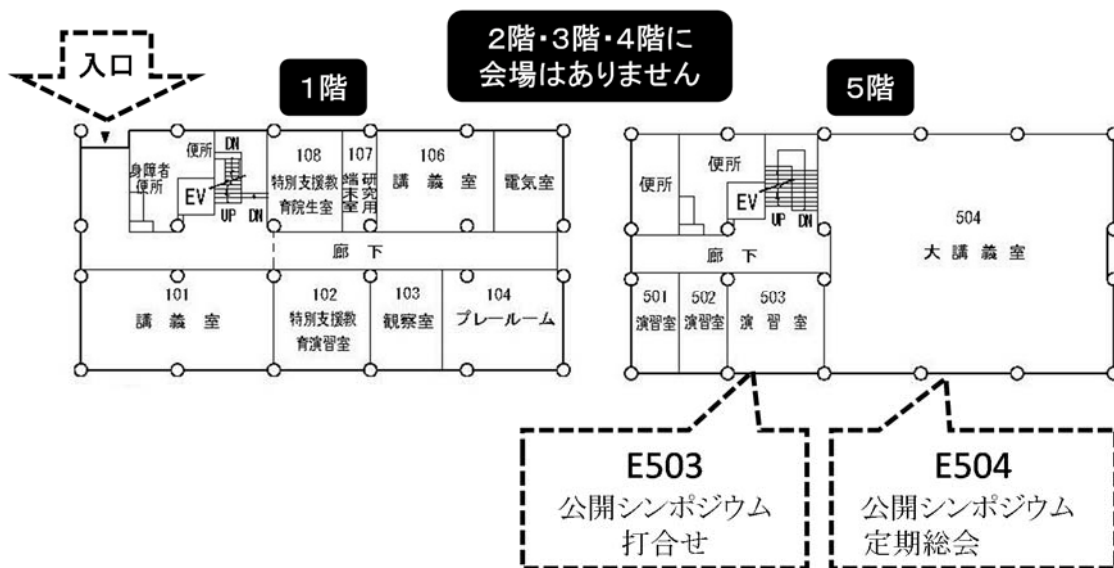
(2) キャンパスマップ (拡大)



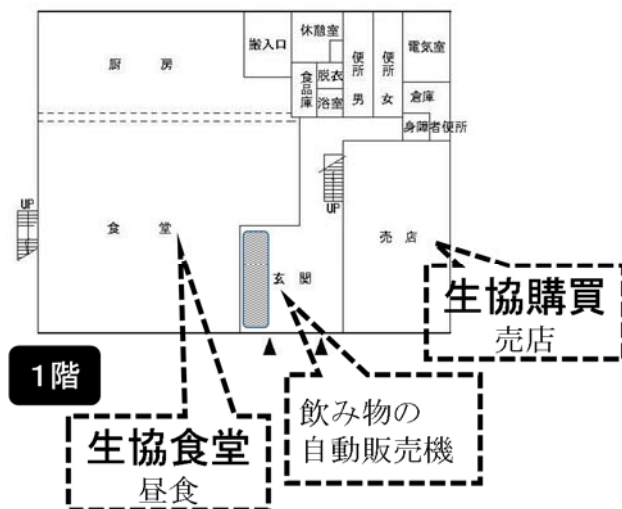
(3) 北校舎講義棟フロアガイド



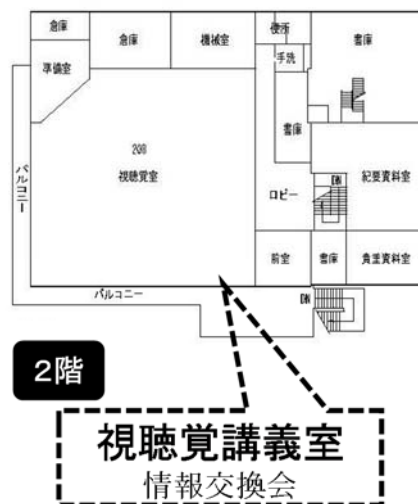
(4) 東校舎フロアガイド



(5) 泉会館 (1階) フロアガイド



(6) 図書館 (2階) フロアガイド



(7) 教室別タイムテーブル ☆斜線以外の空欄箇所は昼食や休憩にご利用ください

校舎 建物	階	教室	9月19日(土)					9月20日(日)			
			9:00 ~12:00	12:00 ~13:00	13:00 ~14:00	14:10 ~17:00	17:15 ~19:15	9:00 ~12:00	12:00 ~13:00	13:00 ~16:00	16:15 ~17:45
東校舎	5	E504	/		定期総会	公開シンポジウム	/	/	/	/	
		E503	/		シンポ打合せ		/	/	/	/	
北校舎	1	N101	自由 第1					自由 第11	打合せ→	課題研究 I	
		N102	自由 第2					自由 第12		打合せ→ラウンドテーブル II	
		N103	自由 第3					自由 第13		/	
		N104	自由 第4					自由 第14		/	
	2	N201	自由 第5					自由 第15	打合せ→	課題研究 II	
		N202	自由 第6					自由 第16		打合せ→ラウンドテーブル III	
		N203	自由 第7					自由 第17	打合せ→	特別課題研究 ラウンドテーブル I	
		N204	会員控室					会員控室			
		ホール	ポスター発表, 論文交換コーナー					ポスター発表, 論文交換コーナー			
	3	N301	自由 第8					自由 第18	打合せ→	課題研究 III	
		N302	自由 第9					自由 第19		打合せ→ラウンドテーブル IV	
		N303	自由 第10					自由 第20		/	
		N304	大会本部, 学会事務局					大会本部, 学会事務局			
	泉会館	1	食堂	昼食					昼食		
食堂前			自動販売機					自動販売機			
図書館	2	視聴覚講義室								情報交換会	

9月19日(土) 9:00~12:00

自由研究発表 第1分科会

司会：油布 佐和子(早稲田大学) 樋口 直宏(筑波大学)

場所：北校舎講義棟 N101 教室

9:00~9:30

大学と附属学校との連携・協働による

初任者研修システムの構築

—平成25年度・26年度「Gプラン」を中心に—

○田子 澄子(東京学芸大学)

9:30~10:20

新任期教員の力量形成と職場環境(2)

○岡邑 衛(甲子園大学)

○菱田 準子(大阪市立成南中学校)

10:20~11:10

初任期教員の成長支援(1)

自律的で協同的な教師の育成

○和井田 節子(共栄大学)

○石原 陽子(プール学園大学)

11:10~11:40

初任期教員の成長支援(2)

若手教師の成長を支える校内体制づくり

～特別支援学校における試行的実施～

○鈴木 敏成(東京都立七生特別支援学校)

11:40~

総括討議

9月19日(土) 9:00~12:00

自由研究発表 第2分科会

司会：浜田 博文(筑波大学) 神永 典郎(白百合女子大学)

場所：北校舎講義棟 N102 教室

- 9:00~9:30 教員養成のための地方小規模大学間の連携
ー模擬授業交換会の実践を通してー
○齋藤 眞宏(旭川大学)
- 9:30~10:00 児童・生徒の想定外の応答に対処するための
基礎的活動としてのフラッシュ型教材の活用
ー課題非従事行動への対処法に関する学部教育と
初任・若手期 OJT との連携に関する研究ー
○山田 雅彦(東京学芸大学)
- 10:00~10:50 教員養成型 PBL 教育における対話的事例シナリオの
到達点と課題
○森脇 健夫(三重大学)
○大日方 真史(三重大学)
- 10:50~11:40 <分かちあい>方式の学習および研修への適用
ー大学の教職科目での展開
また学校現場での活用からの実践研究ー
○小島 勇(東京電機大学)
○野坂 秀樹(星槎大学・院生)
- 11:40~ 総括討議

9月19日(土) 9:00~12:00

自由研究発表 第3分科会

司会：新井 保幸(淑徳大学) 金馬 国晴(横浜国立大学)

場所：北校舎講義棟 N103 教室

9:00~9:30

教育実習前後の学生がもつ不安感と期待感の変化

—インタビュー調査の分析から—

○伊井 義人(藤女子大学)

神保 光希(藤女子大学・院生)

9:30~10:00

小学校観察実習における学生の学びの軌跡

—教育実習への不安軽減に焦点をあてて—

○時田 詠子(群馬医療福祉大学)

10:00~10:30

「教える」ということへの学生の意識の変化

—実習前と実習後の視点の変化から—

○沼澤 清一(仙台白百合女子大学)

10:30~11:00

小学校における理科支援員と教員養成の関係性について

○石井 雅幸(大妻女子大学)

11:00~11:50

教育系学生の意識と行動

—新入生学習調査の分析を中心として—

○早坂 めぐみ(東京学芸大学)

○岩田 康之(東京学芸大学)

佐藤 千津(東京学芸大学)

半澤 礼之(北海道教育大学)

11:50~

総括討議

9月19日(土) 9:00~12:00

自由研究発表 第4分科会

司会：前田 一男(立教大学) 清水 康幸(青山学院短期大学)

場所：北校舎講義棟 N104 教室

- 9:00~9:30 専門学校教員研究の枠組み構築にむけての一考察
ー専門学校教育の特徴と教員との関係に注目してー
○瀧本 知加(東海大学)
- 9:30~10:00 岐路に立つ道徳教育に対応する教師教育の方法に関する考察
ーディスカッションを重視した「道徳の指導法」実践報告ー
○坪井 龍太(東洋英和女学院大学)
- 10:00~10:30 教師教育における「自己否定」に関する理論的考察
ー教師の自己肯定と自己否定の問題を中心にー
○田上 哲(九州大学)
- 10:30~11:00 教師教育者の専門性とは何か：リフレクションの視点から
○山辺 恵理子(東京大学)
- 11:00~11:30 恵那の生活綴方教育と教師教育の課題
ー石田和男の教師論を手がかりにー
○佐藤 隆(都留文科大学)
- 11:30~ 総括討議

9月19日(土) 9:00~12:00

自由研究発表 第5分科会

司会：鎌田 和宏(帝京大学) 森山 賢一(玉川大学)

場所：北校舎講義棟 N201 教室

9:00~9:50

小学校教師は、今！

ー「小学校教師の意識についてのアンケート」にみる

現状と課題ー

○増田 修治(白梅学園大学)

○三石 初雄(帝京大学)

9:50~10:40

「自律条件」時代における教員の自律性論の再構築

ーボトムアップ型チームづくりに関わった

教員の変容の分析を通してー

○中村 映子(スクールカウンセラー)

○水本 徳明(同志社女子大学)

10:40~11:30

子どもが「生きる場」としての共生的環境

○佐島 群巳(星槎大学)

○根本 徹(東京学芸大学附属小金井小学校)

小堂 十(星槎大学・院生/杉並区立久我山小学校)

11:30~

総括討議

9月19日(土) 9:00~12:00

自由研究発表 第6分科会

司会：関川 悦雄（日本大学） 齋藤 和貴（東京学芸大学附属小金井小学校）

場所：北校舎講義棟 N202 教室

- 9:00~9:30 「学習指導技量」評価項目の有用性に関する研究
○三山 緑（岐阜聖徳学園大学）
- 9:30~10:00 授業で物語を読むということ
ー小学校の国語の授業分析を通じてー
○安江 紗那子（東京大学・院生）
- 10:00~10:30 教師発言の分析による授業展開の解釈とその明示化
ードイツ・ギムナジウムの政治教育の事例分析ー
○的場 正美（東海学園大学）
- 10:30~11:20 授業における教師のインターベンションを支える
「見とり」に関する研究
○大和 真希子（福井大学）
○松友 一雄（福井大学）
- 11:20~ 総括討議

9月19日(土) 9:00~12:00

自由研究発表 第7分科会

司会：土屋 基規(神戸大学名誉教授) 赤星 晋作(広島市立大学)

場所：北校舎講義棟 N203 教室

- 9:00~9:30 教員養成課程において「学級経営の方法」を修得させることを
目指した講義内容と講義方法の提案
○大前 暁政(京都文教大学)
- 9:30~10:00 学校経営改革における管理職のリーダーシップと
若手教師への支援
ー規範意識の可視化を通じた学級改善への考察ー
○青木 一(信州大学)
- 10:00~10:30 教師分析と学級経営からみる教師の成長に関する研究
ーAction Researchの視点からー
○川上 知子(佐賀市立城南中学校)
- 10:30~11:00 学校改革を持続させる条件 ー元校長の役割に焦点を当ててー
○内山 仁(福岡国際大学)
- 11:00~11:30 学校経営への参画を促す体制づくり
ー教員研修における「エンパワーメント」の可能性ー
○熊丸 真太郎(島根大学)
- 11:30~ 総括討議

9月19日(土) 9:00~12:00

自由研究発表 第8分科会

司会：藏原 清人(工学院大学名誉教授) 島田 希(高知大学)

場所：北校舎講義棟 N301 教室

- 9:00~9:30 教員の異動後の適応に関する研究
○町支 大祐(青山学院大学)
- 9:30~10:00 メンタリングを通じた新任教員の授業実践上の変化
ー全体指導と個別指導の関係性に着目してー
○田中 あかり(九州大学・院生)
- 10:00~10:50 学び合う組織づくりに果たす教師教育研究者の役割
~校内授業研究へのかかわりを通して~
○坂田 哲人(青山学院大学)
○中田 正弘(帝京大学)
町支 大祐(青山学院大学)
脇本 健弘(東京大学)
- 10:50~11:20 中学校における組織的メンタリングと
学校環境の関係に関する研究
○脇本 健弘(東京大学)
町支 大祐(青山学院大学)
讃井 康智(東京大学)
中原 淳(東京大学)
- 11:20~ 総括討議

9月19日(土) 9:00~12:00

自由研究発表 第9分科会

司会：小柳 和喜雄（奈良教育大学） 吉岡 真佐樹（京都府立大学）
場所：北校舎講義棟 N302 教室

- 9:00~9:30 教育実習における実習生と生徒の互恵的成長
ーアクティブ・ラーニングに基づく英語授業を通してー
○小嶋 英夫（文教大学）
- 9:30~10:00 大学英語授業での協同学習の実践
ー言語文化アプローチを指標にー
○吉野 康子（順天堂大学）
伏木 久始（信州大学）
- 10:00~10:30 教師教育のグローバル化対応
：教師教育における有意性の高い国際連携の設計と実践評価
○百合田 真樹人（島根大学）
- 10:30~11:20 グローバル化に対応した教員養成
ー教職大学院の現状とその役割ー
○長島 明純（創価大学）
○宮崎 猛（創価大学）
- 11:20~ 総括討議

9月19日(土) 9:00~12:00

自由研究発表 第10分科会

司会：森 透 (福井大学) 谷田 増幸 (兵庫教育大学)

場所：北校舎講義棟 N303 教室

- 9:00~9:30 教師教育における「実務家教員」の関わりについて
○攪上 哲夫 (東洋大学・院生)
- 9:30~10:00 学校教育におけるマナー指導の現場と教師教育
○柴崎 直人 (岐阜大学)
- 10:00~10:50 教職大学院における「理論と実践」に関する研究
○富田 福代 (大阪教育大学)
○浦野 東洋一 (帝京大学)
○杉本 真理子 (帝京大学)
- 10:50~11:40 アカデミック・スタンダードと教師育政策
～アメリカ教育改革の最新動向～
○梅澤 収 (静岡大学)
○成松 美枝 (聖隷クリストファー大学)
○櫻井 直輝 (東京大学・院生/日本学術振興会特別研究員)
○梅澤 希恵 (東京大学・院生)
○津田 昌宏 (東京大学・院生)
- 11:40~ 総括討議

9月19日(土) 13:00~14:00, 17:15~19:15

第25回 定期総会

日時： 2015年9月19日(土) 13:00~14:00

場所： 信州大学教育学部 E504教室(東校舎5階)

議案予定：

1. 開会の辞
2. 第25回大会実行委員長挨拶
3. 学会会長挨拶
4. 議長選出
5. 報告事項
 - (1) 会務報告
 - (2) 年報編集委員会報告
 - (3) 研究委員会報告
 - (4) 国際交流委員会報告
 - (5) 2014年度会計報告及び監査報告
 - (6) その他
6. 審議事項
 - (1) 2015年度予算に関する件
 - (2) 今後の活動計画に関する件
 - (3) 新役員承認に関する件
 - (4) 2016年度第26回研究大会会場に関する件
 - (5) その他
7. 議長解任
8. 連絡事項
9. 閉会の辞

情報交換会

会員相互の情報交換と親睦を深めていただきたく、2015年9月19日(土) 17:15から、図書館2階視聴覚講義室にて行います。多数のご参加をお待ちしております。

9月19日(土) 14:10~17:00

公開シンポジウム

【テーマ】 少子・人口減少社会に求められる教育と教師教育のあり方

今や人口減少問題は地方の過疎地の問題のみならず、国の社会的な制度や地方コミュニティの存続にかかわる重要な政治課題にもなっている。こうした状況において、特に地方の中山間地では、少子化に伴い学校統廃合をやむなく受け容れて学校の教育環境を維持することを優先してきたが、さらに学校の小規模化、学級の少人数化が進行している。こうした状況において、学校教育をめぐる諸制度や教育環境の見直し、少人数学級を生かした授業方法等が検討されている。

本大会の公開シンポジウムでは、少子・人口減少社会にどう向き合い、次代を担う子どもたちの教育をどのように考えていくのか、そしてその大事な仕事に挑む教師たちをどのように育て、どのように応援していくのかを様々な立場から考え合う機会としたい。

日 時： 2015年9月19日(土) 14:10~17:00

場 所： 信州大学教育学部 E504 教室 (東校舎 5階)

提 案 者 峯村 均 (長野県上水内郡信濃町立信濃小中学校長)
朝比奈一郎 (青山社中(株) CEO)
三輪 晋一 (長野県教育委員会義務教育課主幹指導主事)

指定討論者 玉井 康之 (北海道教育大学釧路校教授)

コーディネーター 伏木 久始 (信州大学学術研究院教育学系教授)

9月20日(日) 9:00~12:00

自由研究発表 第11分科会

司会：辻野 けんま (上越教育大学) 中田 麗子 (ベネッセ教育総合研究所)

場所：北校舎講義棟 N101 教室

- 9:00~9:30 タイにおける「実践研究者としての教員」の養成
○牧 貴愛 (広島大学)
- 9:30~10:00 多文化共生をめざす教師教育カリキュラムの開発
ー米国における多文化教師教育研究からの示唆ー
○金井 香里 (武蔵大学)
- 10:00~10:30 中国の大学における小学校教員養成カリキュラムの
類型に関する研究
ー総合モデルと分科モデルを中心にー
○高 慧珠 (広島大学)
- 10:30~11:00 米国マサチューセッツ州における学校改善と教員評価の検討
ー学校と教職員のキャパシティ・ビルディングに
焦点をあててー
○黒田 友紀 (日本大学)
- 11:00~11:30 教師の Technological Pedagogical Content Knowledge の
育成に関する研究
○小柳 和喜雄 (奈良教育大学)
- 11:30~ 総括討議

9月20日(日) 9:00~12:00

自由研究発表 第12分科会

司会：佐島 群巳(星槎大学) 志村 聡子(立正大学)

場所：北校舎講義棟 N102 教室

- 9:00~9:30 「プログラムデザイン曼荼羅図」を活用した授業分析を通して
○小堂 十(星槎大学・院生/杉並区立久我山小学校)
- 9:30~10:00 子ども・子育て支援新制度下の保育士・幼稚園教諭養成課程
○内田 千春(共栄大学)
- 10:00~10:50 幼稚園教諭をめぐる諸問題(3)
—幼稚園教員の養成と資質向上の課題—
○藏原 三雪(横浜創英大学)
○内海崎 貴子(川村学園女子大学)
池田 政子(山梨県立大学)
- 10:50~11:40 ビオトープの教育資源活用に関する研究(その2)
—乳幼児の感性を育てる環境教育—
○根本 徹(東京学芸大学附属小金井小学校)
○小堂 十(星槎大学・院生/杉並区立久我山小学校)
佐島 群巳(星槎大学)
- 11:40~ 総括討議

9月20日(日) 9:00~12:00

自由研究発表 第13分科会

司会：青木 一（信州大学） 新井 清規（長野市立芋井小学校）

場所：北校舎講義棟 N103 教室

- 9:00~9:30 民間教育機関との協働による
若手教員の授業力向上研修プログラムの開発
～指導場面の映像教材を用いたアクティブラーニング～
○小林 祐一（沖縄女子短期大学）
- 9:30~10:00 教師のネットワークと授業改善
－中学校家庭科教師同士の関係に着目して－
○兼安 章子（九州大学・院生／福岡教育大学附属小倉中学校）
- 10:00~10:30 健康的な社会環境づくりに向けた
「市民性」と「実践力」の育成の試み
○赤田 信一（静岡大学）
- 10:30~11:20 へき地・小規模校における校内研究の現状と課題
－北海道における事例調査を通して－
○深見 智一（北海道鶴居村立幌呂小学校）
○津田 順二（北海道教育大学）
- 11:20～ 総括討議

9月20日(日) 9:00~12:00

自由研究発表 第14分科会

司会：岩田 康之(東京学芸大学) 久保 富三夫(帝塚山学院大学)

場所：北校舎講義棟 N104 教室

- 9:00~9:30 『日本之小学教師』にみる教師文化の形成と不良教師の登場
～明治・大正期を中心に～
○田中 卓也(共栄大学)
- 9:30~10:00 指導改善研修の実際から「教員問題」を考察する
ー新しい段階としての教員支配・教員管理ー
○芦名 猛夫(京都橘大学)
- 10:00~10:30 「校内暴力」と教師達の認識・実践・影響に
関する研究(その2)
ー1941-45年出生埼玉県公立中学校教師を事例としてー
○佐藤 良(立教大学・研究生)
- 10:30~11:00 在職中に視覚障害となった教師の復職過程
○中村 雅也(立命館大学)
- 11:00~11:30 教師レジリエンスに関する研究動向
○森 久佳(大阪市立大学)
小柳 和喜雄(奈良教育大学)
木原 俊行(大阪教育大学)
- 11:30~ 総括討議

9月20日(日) 9:00~12:00

自由研究発表 第15分科会

司会：高旗 浩志(岡山大学) 山辺 恵理子(東京大学)

場所：北校舎講義棟 N201 教室

- 9:00~9:30 教職課程における学生の面接指導に関する研究
～大阪市立大学のカルテ面接の事例から～
○藤原 靖浩(大阪市立大学)
- 9:30~10:00 教員の資質能力の向上方策に関する考察
～教職員に対する意識調査を基にして～
○當山 清実(兵庫教育大学)
- 10:00~10:30 最近の教育政策における教員問題
～教員の役割をどう考えているか～
○蔵原 清人(工学院大学名誉教授)
- 10:30~11:00 「教員の地位に関する勧告」における専門職の理念の再検討
～勧告草案, 68年各国政府への質問書,
70年 CEART 報告書を素材に～
○山田 寛太(学習塾講師)
- 11:00~11:50 教職課程設置公私立大学における
大学教職員の専門性開発に関する研究
～FD・SD アンケート調査対象大学から得られる示唆～
○張 揚(北海道大学)
○三石 初雄(帝京大学)
- 11:50~ 総括討議

9月20日(日) 9:00~12:00

自由研究発表 第16分科会

司会：玉井 康之(北海道教育大学) 森脇 健夫(三重大学)

場所：北校舎講義棟 N202 教室

- 9:00~9:30 生徒指導実践力を身に付けるための教育ボランティア
—学生による教科学習支援員制度をとおして—
○前田 善仁(東海大学)
- 9:30~10:00 「酪農家民泊体験実習」プログラムを通じた大学生の
知識構造の変化と将来展望形成
○半澤 礼之(北海道教育大学釧路校)
宮前 耕史(北海道教育大学釧路校)
- 10:00~10:50 <震災体験を継承・学ぶ意味と課題>
—東日本大震災・福島原発問題に直面した学校・教師から学ぶ
<学生主体のグループ学習>/履修学生・授業アドバイザー
(SA)4年間の学びの検証, 課題—
○立川 琢也(東京電機大学・学生)
○伊藤 秀晃(東京電機大学・学生)
○有馬 明李(東京電機大学・学生)
○小島 勇(東京電機大学)
- 10:50~11:40 「教職の意義等に関する科目」に対する学生の志向と課題
○腰越 滋(東京学芸大学)
○林 尚示(東京学芸大学)
- 11:40~ 総括討議

9月20日(日) 9:00~12:00

自由研究発表 第17分科会

司会：田上 哲(九州大学) 中田 正弘(帝京大学)

場所：北校舎講義棟 N203 教室

9:00~9:50

「学校教育体験実習Ⅰ・Ⅱ」に関する実践研究2

ー学生と教員に対するアンケート調査

及びテキストマイニングからー

○小澤 薫(東北女子大学)

○山崎 祥子(東北女子大学)

○崎野 三太郎(東北女子大学)

○吉田 裕美子(東北女子大学)

9:50~10:40

教員を目指す学生による「学校現場体験」の再検討

ー静岡大学と愛知東邦大学の実践を事例としてー

○長谷川 哲也(静岡大学)

○菅野 文彦(静岡大学)

○今津 孝次郎(愛知東邦大学)

10:40~11:30

学校インターンシップは実践的指導力を涵養するのか?

ー教員採用試験や教職アスピレーションとの関係を中心にー

○原 清治(佛教大学)

○堀出 雅人(華頂短期大学)

○芦原 典子(佛教大学・非常勤)

11:30~

総括討議

9月20日(日) 9:00~12:00

自由研究発表 第18分科会

司会：和井田 節子(共栄大学) 池上 徹(関西福祉科学大学)

場所：北校舎講義棟 N301 教室

- 9:00~9:30 中核市における校外初任者研修プログラムの検討
～市民性を育む研修プログラムを中心に～
○大橋 保明(名古屋外国語大学)
- 9:30~10:00 指導主事による校内研究活性化のための指導モデルの開発
－秋田県と福井県に焦点を当てて－
○千々布 敏弥(国立教育政策研究所)
- 10:00~10:50 教員の行政研修に関する全国的傾向
－各都道府県及び政令指定都市が行う
研修実態の分析を通して－
○田邊 良祐(筑波大学・院生)
○大西 圭介(筑波大学・院生)
○牧瀬 翔麻(筑波大学・院生)
- 10:50~11:40 学校研究の発展に資する教育委員会指導主事の
役割モデルの開発
○島田 希(高知大学)
○木原 俊行(大阪教育大学)
○寺嶋 浩介(大阪教育大学)
- 11:40~ 総括討議

9月20日（日） 9：00～12：00

自由研究発表 第19分科会

司会：高野 和子（明治大学） 西永 兼康（長野清泉女学院中学・高等学校）

場所：北校舎講義棟 N302 教室

- 9：00～9：30 中高一貫教育校におけるグローバル・リーダーの育成
～教科横断型校内研究の推進とコーチング理論の導入～
○西田 寛子（岡山県立岡山操山中学校）
- 9：30～10：00 青年教師の成長と教員養成課程の課題
－授業づくり，学級づくりの実践事例－
○小池 由美子（埼玉県立川口北高等学校）
- 10：00～10：30 高校教師のライフコースにみる専門性発達とその特徴
○計良 智子（東洋大学・院生）
- 10：30～11：00 高等学校に勤務する経験者教師及び初任期の教師の教職への
コミットメントは何によってもたらされているのか
○山口 晴敬（北海道大学・院生）
- 11：00～11：30 高校教育の成果と求められる教師の資質能力
○南本 長穂（関西学院大学）
- 11：30～ 総括討議

9月20日（日） 9：00～12：00

自由研究発表 第20分科会

司会：内山 隆（北海道教育大学） 藤井 善章（信州大学）

場所：北校舎講義棟 N303 教室

9：00～9：30

信州大学教育学部「教職実践演習」のコース別演習

－社会科教育コースを例に－

○藤崎 聖也（信州大学）

9：30～10：00

実践力をはぐくむことをめざした教職実践演習の指導実践報告

○菅 達徳（明治大学附属中野中・高校）

10：00～10：30

教員養成の質保証に向けた

教職実践演習のモデル開発に関する研究（1）

○米沢 崇（広島大学）

久保 研二（島根大学）

宮木 秀雄（山口学芸大学）

10：30～11：20

現職段階を見据えた教師教育実践のあり方にかんする一考察

：教職実践演習における実践例から

○村井 尚子（大阪樟蔭女子大学）

○坂田 哲人（青山学院大学）

11：20～

総括討議

9月19日（土）～20日（日）

ポスター発表

場所：北校舎講義棟3階オープンスペース

岡山大学教育学部家政教育講座における

小学校の教科に関する科目「初等家庭科内容研究」の実践と評価

－教科教育・教科内容・教育実習の関連を図った

教員養成家庭科カリキュラム構築の試み（5）－

○篠原 陽子（岡山大学）

○佐藤 園（岡山大学・院生）

9月20日(日) 13:00~16:00

課題研究, 特別課題研究

課題研究Ⅰ「教師教育学の独自性と方法論研究」

【テーマ】今日の教員養成・研修政策と研究の課題

－教師教育学の独自性と方法論研究の方向をめぐって－

日時： 2015年9月20日(日) 13:00~16:00

場所： 北校舎講義棟 N101 教室

司会： 蔵原 清人(工学院大学名誉教授)

報告：

1. 関川 悦雄(日本大学)
2. 望月 耕太(神奈川大学)
3. 山崎 奈々絵(聖徳大学)

課題研究Ⅱ「教師教育研究の国際化と比較研究の課題」

【テーマ】教職をめぐる課題の変化と教師教育

－国際比較研究の観点から－

日時： 2015年9月20日(日) 13:00~16:00

場所： 信州大学 北校舎講義棟 N201 教室

司会： 吉岡 真佐樹(京都府立大学)

佐藤 千津(東京学芸大学)

報告：

1. 百合田 真樹人(島根大学)
2. 庄井 良信(北海道教育大学)
3. 矢野 博之(大妻女子大学)

課題研究Ⅲ「教師教育における実践性と高度化」

【テーマ】教師教育における「実践性」と「高度化」

－その論点と課題－

日 時： 2015年9月20日（日）13：00～16：00

場 所： 北校舎講義棟 N301 教室

司 会： 木内 剛 （成蹊大学）

岩田 康之（東京学芸大学）

報 告：

1. 岩田 康之（東京学芸大学）
2. 田中 光晴（東北大学）
3. 盛藤 陽子（東京大学・院生）

特別課題研究「震災・学校危機と教師教育」

【テーマ】震災・学校危機と教師教育（シンポジウム）

日 時： 2015年9月20日（日）13：00～16：00

場 所： 北校舎講義棟 N203 教室

司 会： 和井田 節子（共栄大学）

シンポジスト：

1. 鈴木 久男（長野県上田市塩田公民館／元・栄村立北信小学校長）
2. 日野 彰 （福島県楡葉町立楡葉中学校）
3. 諏訪 清二（兵庫県立松陽高等学校）

指定討論者：

1. 瀧野 揚三（大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター）
2. 岩切 昌宏（大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター）

9月20日(日) 16:15~17:45

ラウンドテーブル

ラウンドテーブルⅠ： 北校舎講義棟 N203 教室

テーマ：震災・学校危機と教師教育－課題から学び、どのように展望をつくるか－

特別課題研究「震災・学校危機と教師教育」の論議を踏まえ、さらにパネリスト報告から課題理解を深め、参加者と共に今後の展望を検討していく。本ラウンドテーブルでは、ワークショップも取り入れ、参加者相互の共通理解を図りながら、震災体験の継承の意義、教師教育研究における課題なども示していきたい。

企画者： 小島 勇 (東京電機大学)

和井田節子 (共栄大学)

三石 初雄 (帝京大学)

報告者： 鈴木 久男 (長野県上田市塩田公民館／元・栄村立北信小学校長)

日野 彰 (福島県檜葉町立檜葉中学校)

菊池ゆかり (福島県浅川町立浅川小学校)

諏訪 清二 (兵庫県立松陽高等学校)

瀧野 揚三 (大阪教育大学)

岩切 昌宏 (大阪教育大学)

運営協力：立川 琢也 (東京電機大学・学生)

伊藤 秀晃 (東京電機大学・学生)

有馬 明李 (東京電機大学・学生)

他学生

9月20日(日) 16:15~17:45

ラウンドテーブル

ラウンドテーブルⅡ： 北校舎講義棟 N102 教室

テーマ：高等学校における授業研究がもたらす新任教師の変容

授業研究を基軸とした専門家共同体を立ち上げる挑戦をしている公立高等学校に赴任した新任教師たちが、校内の授業研究に参加することを通して、教師としての授業観、子ども観等において、どのような変容を経験したのかを、新任教師自身による語りと、彼・彼女らを支えた先輩教師による語り、授業研究にかかわった研究者による語りから、明らかにすることを試みる。発表を通して、教師教育における専門家共同体ならびに授業研究の重要性と意味を照射するとともに、教師研究と授業研究における多層な語りのもつ可能性について問題提起することを試みる。

高井良健一 (東京経済大学)	— 企画者・司会者
小島 武文 (埼玉県立新座高等学校)	— 提案者
高石 昂 (埼玉県立新座高等学校)	— 提案者
福泉 志織 (埼玉県立新座高等学校)	— 提案者
金子 奨 (埼玉県立新座高等学校)	— コメンテーター
吉田 友樹 (埼玉県立新座高等学校)	— コメンテーター
岩田 一正 (成城大学)	— コメンテーター
齋藤 智哉 (國學院大學)	— コメンテーター
木村 優 (福井大学)	— コメンテーター

9月20日(日) 16:15~17:45

ラウンドテーブル

ラウンドテーブルⅢ： 北校舎講義棟 N202 教室

テーマ：リアリスティックアプローチによる教師教育の実践

ー大阪樟蔭女子大学の事例を中心としてー

本ラウンドテーブルでは、大阪樟蔭女子大学における教育実践を題材として、『リアリスティックアプローチ』による教師教育の意義や、日本におけるそのあり方、具体的な展開方法について検討を進めていくことを目的としている。

『リアリスティックアプローチ』は、Korthagen(2001)によって、新しい教師教育の考え方として提唱され、新しい教師教育のあり方(アプローチ)として耳目を集めているが、日本をはじめとしてその実践例の蓄積は未だに少ない状況にあり、その効果のほどは未知数である。それゆえ、この時期において様々な観点から広く検討が進められることは、リアリスティックアプローチのみならず、翻って日本の教師教育のあり方を相対的に評価するという意味においても重要なことであると考えられる。

大阪樟蔭大学では、学内外の複数の教員がチームを組みリアリスティックアプローチの実践に取り組んできた。本ラウンドテーブルでは、その実際を報告するとともに、その一端をワークショップ形式で提供する。その後、報告内容をベースとしたディスカッションを進める予定である。

企画者・報告者：村井 尚子 (大阪樟蔭女子大学)

報告者：濱谷 佳奈 (大阪樟蔭女子大学)

中山 美佐 (大阪樟蔭女子大学)

山本 一成 (大阪樟蔭女子大学)

小野寺 香 (大阪樟蔭女子大学)

坂田 哲人 (青山学院大学)

9月20日（日） 16：15～17：45

ラウンドテーブル

ラウンドテーブルⅣ： 北校舎講義棟 N302 教室

テーマ：教員養成における交流人事教員の役割

教員養成学部における教員養成の改善と充実，教職大学院における理論と実践の架橋による指導方法・内容の拡充，大学と教育委員会の連携協働による教員養成・採用・研修の一体化等，教員養成改革の動きの中で，実務家教員に期待が寄せられている。その実務家教員の中に，大学と教育委員会との人事交流制度に基づき，期限付きで派遣される交流人事教員が全国各地で，それぞれに課せられた使命・職責を果たすべく，活動している。

本ラウンドテーブルでは，交流人事教員としての配属先，配属職階や任期終了後の関わり等の異なる複数の発表者が，それぞれの違いを踏まえ，交流人事教員が果たすべき役割や，貢献できること等を発表する。

企画者：藤井 善章（信州大学）

共同研究者：霜川 正幸（山口大学）

ゲストスピーカー：

神居 隆（秋田大学）

静屋 智（山口大学）

吉村 嘉文（岐阜大学）

●●● 全巻好評発売中!!

【編集代表】三輪 定宣

教師教育テキストシリーズ 〈全15巻〉

● 定価各1944円
(※1・3巻のみ2376円)

教育職員免許法に定められた「教職の意義等に関する科目」のテキストとして最適。
最新の内容を盛り込み、よりわかりやすく、加筆修正を施した改訂版。

- 1 教育学概論** 三輪定宣 著
- 2 教職論** 岩田康之・高野和子 編
- 3 教育史** 古沢常雄・米田俊彦 編
- 4 教育心理学** 杉江修治 編
- 5 教育社会学** 久富善之・長谷川裕 編
- 6 社会教育** 長澤成次 編
- 7 教育の法と制度** 浪本勝年 編
- 8 学校経営** 小島弘道 編
- 9 教育課程** 山崎準二 編
- 10 教育の方法・技術** 岩川直樹 編
- 11 道徳教育** 井ノ口淳三 編
- 12 特別活動** 折出健二 編
- 13 生活指導** (改訂版) 折出健二 編 NEW!!
- 14 教育相談** 広木克行 編
- 15 教育実習** 高野和子・岩田康之 編



教育方法学研究ハンドブック

日本教育方法学会 編
定価 6480円
教育方法学の研究が蓄積してきた知見を整理し、現在の水準を明らかにし、また未解決の残された課題や今後の展望をひまえる。

現代の教師と教育実践

宮盛邦友 著
定価 2052円
子どもの権利に基づき、現代日本における新しい公教育としての学校を構想するため、現代の教師と教育実践に挑戦する。

教育課程・方法論

松尾知明 著
定価 2484円
人間の全体的能力(知識スキル態度)としてのコンピュータシールの育成に注目。これからの授業デザインについて説明。

現代中国の「大学における教員養成」への改革に関する研究

張揚 著
定価 5076円
現代中国における教員養成教育の課題を提示し、今後の改革の方向性について示唆する。

講座 現代学校教育の高度化

小島弘道監修
各巻 定価 2268円
専門性を不断に成熟させ高度専門職業人にふさわしい力量を備えた教師の育成をめざす。

現代の教育法制

「考える教師」―構築、創造、実践する教師
山崎準二・榎原徳宏・辻野けい
佐藤晴雄・菅原厚志・柴田孝子

生涯学習と学習社会の創造

スクールリーダーシップ
小島弘道・洲上義一・齋戸健司
小島弘道・熊谷博之輔・末松基

学校づくりとスクールのミドル

佐々木・泉奈田史・武井敦史
田中耕治・森健夫・徳園慶
石原利紀・家近浩吉・飯田学

授業づくりと学びの創造

学校教育と心理教育の援助サービスの創造
渡辺稔子・藤嶋研之助・若菜亮
学校教育と道徳教育の創造
吉田武男・相澤偉幸・柳浩夫
学校改善と校内研修の設計
北浦正行・木原啓一・佐野子
宮崎美夫・平田朝平・岡本周
唐木清志・西村幸・藤原章

※この巻のみ定価2700円

〔新編〕よくわかる教育の基礎

湯川次義 編著
定価 2268円
教育の原理の基礎を確実におさえ、「わかりやすさ」を重視。主に学校教育に関わる各領域の基本的な理論や知識をまとめた。

教育の方法と技術(改訂版)

柴田義松 編著
定価 1944円
教師の仕事につくことを志す学生に向けた教職への入門書。教師がもつべき専門的教養の中核となる「教育の方法・技術」を解説。

大正自由教育研究の軌跡

―人間へスタロッチーに支えられて―
中野光 著
定価 2484円
「中野教育学研究」を検証し、研究の前進をめざす次世代の人たちへのメッセージ。

教師教育学

―理論と実践をつなぐリアリステック・アプローチ―
F・コルトハーゲン 編著／武田信子 監訳
定価 4320円
欧米で広く読まれ活用される教師教育改革の実践的理論書。

学校学力から生涯学力へ

―変化の時代を生きる―
前田耕司・佐藤千津 編著
定価 1836円
日本、イギリス、オーストラリアなど各国における学力観、学力形成に向けた施策や実践、課題を考察。

学生の学力と高等教育の質保証Ⅱ

山内乾史・原清治 編著
各定価 2268円
キーワードの「学力」と「就労」のうち、主に「学力」を中心に、いかにして学生の学習時間、学習の質を確保するかを論じる。

柴田義松教育著作集(全八巻)

- 〔編集委員〕木内剛・阿部昇・加藤郁夫・小林義明・定価各3024円
澤野由紀子・世正浩・高橋喜代治・宮坂瑠子・山崎準二 全巻24192円
- 第一巻 現代の教授学 第五巻 授業の基礎理論
 - 第二巻 教育的人間学 第六巻 授業の技術
 - 第三巻 教育課程論 第七巻 学び方学習論
 - 第四巻 教科教育論 第八巻 学習集団論

祝 日本教師教育学会 第25回研究大会

日本語が好きだから
語検

的を得る ?

押しも押されぬ ?

気になったら

日本語検定!



公式キャラクター
にほんごん

- 入試での優遇や単位認定の対象にする学校が増えています。
- 各学校を準会場とした団体受検も可能です。

美しい日本語 正しい日本語

文部科学省後援事業 日本語検定

普段何気なく使っている日本語ですが、思わぬ勘違いや思い違いも多く見られます。あなたの日本語は大丈夫ですか？日本語検定では、敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字の6領域において、それぞれの知識と運用能力を測定します。

平成27年度 第2回 実施日	一般会場 11月7日(土)
	準会場 11月6日(金)・7日(土)
申込期間	8月1日(土) ~ 10月9日(金) * 10月10日(土)消印有効
受検級の目安	[1級] 社会人 [2級] 大学卒業程度
	[3級] 高校卒業程度 [4級] 中学校卒業程度
	[5級] 小学校卒業程度 [6級] 小学4年修了程度
	[7級] 小学2年修了程度

特定非営利活動法人

日本語検定委員会

<http://www.nihongokentei.jp>

日本語検定

検索

いますぐ
クリック

お問い合わせ

委員会事務局 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1

☎ 0120-55-2858 ●午前9:30~午後5:00(土・日・祝日を除く)

【特別協賛】読売新聞社 【協賛】時事通信社/東京書籍

【後援】文部科学省/日本商工会議所/経団連事業サービス/全国連合小学校長会/全日本中学校長会/

全国高等学校長協会/全国工業高等学校長協会/全国商業高等学校協会/全国高等学校国語教育研究連合会/
日本PTA全国協議会/全国高等学校PTA連合会/日本青少年育成協会 他

今日必須の課題としての教師教育改革

教員養成を哲学する―教育哲学に何ができるか

林泰成・山名淳・下司晶・古屋恵太郎著
A5・上製・三五二頁・四二〇〇円

基礎理念を欠く教員養成の現状の批判的検証の下、養成課程はじめ教育哲学が教育に果たすべき役割を具体的に追究

日本とドイツの教師教育改革

―未来のための教師をどう育てるか
渡邊満/K・ノイマン編
A5・上製・三五二頁・三八〇〇円

―多様性と公平性の保証に向けて
本柳とみ子著
A5・上製・三五二頁・三六〇〇円

校長の資格・養成と大学院の役割

小島弘道編著
A5・上製・四三二頁・六八〇〇円

IT時代の教育プロ養成戦略

―日本初のeラーニング専門家養成ネット大学院の挑戦
大森不二雄編
A5・上製・二四四頁・二六〇〇円

日本の外国語教育改革のゆくえ

国際的にみた外国語教員の養成

編集代表 大谷泰照 編集 杉谷眞佐子・橋内武・林桂子
A5・上製・三九二頁・三六〇〇円

時代の養成に逆行する日本の外国語教員養成の現状を、諸外国の実態検証に基づきその不徹底・非専門化を鋭く批判。

一貫連携英語教育をどう構築するか

―「道具」としての英語観を超えて
鳥飼玖美子編著
A5・並製・一七六頁・一八〇〇円

英語を便利な道具とみなす通念に何が欠けているか―三つの柱による小中高大連携教育に見る我が国への大きな示唆

〈身体で読み書きさせる〉教育の復権

文字を手書きさせる教育―「書写」に何が

鈴木慶子著
A5・並製・二五六頁・二四〇〇円

文字を丁寧に手書きすることは日本文化を身体にしみ込ませる学習だ―日常手書き経験の欠如を満たす書写の重要性。

視写の教育―「からだ」に読み書きさせる

池田久美子著
A5・並製・二四〇頁・二四〇〇円

新自由主義教育に対峙する新たな教育への視座

大正新教育の思想―生命の躍動

橋本美保・田中智志編著
A5・上製・五八四頁・四八〇〇円

その共感と協働の教育は今日の競争と選別の教育超克の原点だ―詳細な思想考察を通じ初めて新教育の全体像を提示。

生活世界に織り込まれた発達文化

―人間形成の全体史への道
青木利夫・柿内真紀・関啓子著
A5・上製・二八〇頁・二八〇〇円

現代の学校リテラシーによる選別の教育に対し、全生活過程にわたる発達文化の視座から教育諸過程の再構築を目指す。

教育の共生体へ―ポディエテューク

田中智志編著
A5・上製・二七二頁・三五〇〇円

ヨーロッパ近代教育の葛藤

―地球時代の求める教育システムへ
関啓子・太田美幸編著
A5・上製・二四四頁・三二〇〇円

米教育史家ラヴィッチの思想的変遷

アメリカ間違いがまかり通っている時代

―公立学校の企業型改革への批判と解決法
D・ラヴィッチ著
未藤美津子訳
A5・上製・五三六頁・三八〇〇円

今日の企業型教育改革をデータの裏付けを書く観念の所産として痛烈に批判し、教育の本質に基づく問題解決法を提示。

教育による社会的正義の実現

―アメリカの挑戦(一九四五―一九八〇)
D・ラヴィッチ著
未藤美津子訳
A5・上製・五四四頁・五六〇〇円

学校改革抗争の100年―20世紀アメリカ教育史

D・ラヴィッチ著
未藤美津子・宮本健市郎・佐藤隆之訳
A5・上製・六六四頁・六四〇〇円

教育と医療の狭間におぼろ

発達障害支援の社会学

木村祐子著
A5・上製・二四〇頁・三六〇〇円

発達障害支援の医療化に伴う解決の不確実性等の問題群―実践家への面接を中心に改善方向を具体的に追究した力作。

アクティブラーニングと主体的学び―理論から実践へ

アクティブラーニングと

教授学習パラダイムの転換
溝上慎一著
A5・並製・二〇八頁・二四〇〇円

教師の話を一方的に聴く受動的授業から自ら書き・話し発表する活動的授業へ―画期的転換のための理論的実践書。

「主体的学び」につなげる評価と学習方法

―カナダで実践されるICEモデル
S・F・ヤング/R・J・ウィルソン著
土持ゲリー法一監訳
A5・並製・二八八頁・二〇〇〇円

アイデア(A)、つながり(C)、応用(E)を基底に「浅い学び」から自ら発展させる「深い学び」へ―具体的な方法と実例の書。

主体的学び 創刊号

教育から学びへ、ICT活用へ
一七六頁・一八〇〇円

主体的学び 第2号

反転授業がすべてを解決する
のから一六〇頁・二六〇〇円

主体的学び 第3号

アクティブラーニングとポートフォリオ
一四四頁・二六〇〇円

ラーニング・ポートフォリオ―学習改善

土持ゲリー法一著
A5・並製・二七二頁・二五〇〇円

ティーチング・ポートフォリオ―授業改善

土持ゲリー法一著
A5・並製・二〇八頁・二〇〇〇円

ポートフォリオが日本の大学を変える

―ティーチング・ラーニング・アカデミック・ポートフォリオの活用
土持ゲリー法一著
A5・並製・二〇八頁・二〇〇〇円

教師・学習者ともに大いに役立つ授業等の実践・省察の記録―その作成・活用のすべてを具体的に紹介・考察した三部作。

社会生活の基盤―マナーの教育への理論的アプローチ

マナーと作法の社会学

加野芳正編著
四六・並製・二八〇頁・二四〇〇円

マナーと作法の人間学

矢野智司編著
四六・並製・二二六頁・二〇〇〇円

●放送大学テキスト

好評発売中

現代日本の教師

油布佐和子・岩立京子・佐久間亜紀
元兼正浩 2015年発行 ¥2,700+税

幼児教育の指導法

師岡章・佐久間路子・田中浩二
2015年発行 ¥2,700+税

人間発達論特論

住田正樹・田中理絵
2015年発行 ¥3,200+税

日本の教育改革

小川正人・岩永雅也・無藤隆・
油布佐和子 2015年発行 ¥2,700+税

教育学入門 - 教育を科学するとは -

岡崎友典・永井聖二・富江英俊・加藤理
2015年発行 ¥2,600+税

乳幼児の保育・教育 [新訂]

岡崎友典・梅沢実・井上清美・押元信幸
芦田川祐子 2015年発行 ¥2,300+税

教育の社会学

近藤博之・岩井八郎・木村涼子・中澤涉
大多和直樹 2015年発行 ¥2,700+税

道德教育の方法

堺正之
2015年発行 ¥2,300+税

家庭教育論

住田正樹・天童睦子・田中理絵
2012年発行 ¥2,400+税

地域社会の教育的再編

岡崎友典・夏秋英房
2012年発行 ¥2,600+税

学校と法

坂田仰・岩橋健定・黒川雅子
2012年発行 ¥2,200+税

児童・生徒指導の理論と実践

住田正樹・岡崎友典・伊藤亜矢子・
田中理絵 2011年発行 ¥2,500+税

子ども・若者の文化と教育

武内清・岩田弘三・明石要一・天童睦子
小針誠 2011年発行 ¥2,300+税

道德性形成・徳育論

押谷由夫・高島元洋・伴恒信・湯浅邦弘
貝塚茂樹 2011年発行 ¥3,000+税

教育と社会

岩永雅也
2011年発行 ¥2,600+税

教育文化論特論

鈴木晶子
2011年発行 ¥2,400+税

現代教育改革論

江原武一・南部広孝・深堀聰子・
服部美奈 2011年発行 ¥2,500+税

コミュニティ教育論

岡崎友典・玉井康之
2010年発行 ¥2,600+税

地域教育の創造と展開

岡崎友典・高島秀樹・夏秋英房
2008年発行 ¥3,000+税

学校教育論

田中統治・庄司一子・浜田博文
2008年発行 ¥2,200+税

●ご希望の方に「図書目録」をお送りします。詳しくは www.ua-book.or.jp



一般財団法人 放送大学教育振興会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-14-1

TEL 03-3502-2750

FAX 03-3592-2482

高いレベルの読む力を保証する
カリキュラム設計のあり方を問う！

教室における

読みのカリキュラム設計

八田幸恵 著 A5 / 本体2500円

高いレベルの読解力とは何か、どうしたら身につけさせることができるのか。第一部は、アメリカにおける読みの教育目標論の到達点を整理して示した。第二部は、高校の教室における小説の読みのカリキュラム設計の実践研究であり、本研究のダイナミズムを表現している。これまでの研究の歩みを世に問う1冊である。



日本標準ブックレット ◆ 好評本紹介 ◆

No.13 カリキュラムマネジメント

―学力向上へのアクションプラン―

田村知子 著 A5判 / 56頁 / 本体600円(税別)

「カリキュラムマネジメント」は、「教育の多忙化」「教育内容の増加」など、学校現場が抱えるさまざまな課題を解決する処方箋としてクローズアップされている。「カリキュラムマネジメント」とは何か、その考え方や手法を具体的実践例を通してあきらかにする。



No.14 今求められる学力と学びとは

―コンピテンシーベースのカリキュラムの光と影―

石井英真 著 A5判 / 80頁 / 本体900円(税別)

次の学習指導要領改訂に向けて、カリキュラムの重点を内容ベースから資質・能力（コンピテンシー）ベースへとシフトしようとする議論がある。改革に翻弄されないために知っておくべき根拠の部分（社会と教育の構造変容）を解説し、今どのような学力や学びを目指すべきなのか論じる。



No.15 先生！今日の授業楽しかった！

―多忙感を吹き飛ばすマネジメントの視点―

増田修治 著 A5判 / 64頁 / 本体600円(税別)

多忙感の解消から教師生活の充実へ。先生方の多忙感を解消し、教師生活を充実したものにして欲しいとの願いを込めて編集。具体的な授業例を数々あげながら「カリキュラムマネジメント」の考え方をもとに、様々な学校現場の課題解決に指針を与える1冊！



〒167-0052 東京都杉並区南荻窪3-31-18
Tel.03-3334-2620 Fax.03-3334-2623

日本標準

<http://www.nipponhyojun.co.jp/>
E-mail:shoseki@nipponhyojun.co.jp

実践から学ぶ解釈型歴史学習

子どもが考える歴史学習へのアプローチ

定価 三三六円

土屋武志編 岡崎社会科研究会 著

生徒に「歴史家体験」をさせながら、自ら過去を調べ、価値判断して描き出す論理的プロセスと対話を重視した歴史学習の提案。

「気づき」の現代社会学2

江戸川大学現代社会学科編 フィールドワークで世界を知る

定価 一七二八円

祭礼や歴史を活かした観光地・まちづくり、「コミュニティ」の再構築 文化財保護…
フィールドワークを通して現代社会を解き明かす。

入門 社会・地歴・公民科教育

栗原久 編著 確かな実践力を身に付ける

定価 二一六〇円

アジア共通歴史学習の可能性

土屋武志著 解釈型歴史学習の史的探究

定価 三三四〇円

探究的世界史学習の創造

田尻信壹 著 思考力・判断力・表現力を育む授業作り

定価 二一六〇円

神辺靖光 著作

明治前期中学校形成史

府原別編3 東日本

定価 五二九二円

続 明治の教育史を散策する

近刊案内 第一部 学校をめぐる逸話と風景

逸話で描く学校史 / 学校づくりいろいろ / 校舎、校庭のなりたち / 私塾、学校の新開広告 / 東京の書生 勉強と遊び / 近代学校の出発

第二部 黎明期の論客教育家

「大小学」の概略を建白した海保弁之助 / 私学の統制に反対した尺振八 / 加藤恒の「興学六弊疑問」と金沢の学校設置問題 / 中等教育の原型をつくった近藤真琴の攻玉社

梓 出版 社
TEL/FAX 047-344-8118

〒270-0034 千葉県松戸市新松戸 7-65
<http://www.azusa-syuppan.co.jp/>

情動の実践としての教師の専門性

木村 優著 8000円
教師の専門性を「情動」の点から初めて取り上げ、授業における教師の情動実践の理論モデルを提案。教師の仕事の現実に迫る挑戦的な実践研究の学術書。

質の経験としてのデュイ芸術的経験論と教育

西園 芳信著 5500円
デュイ芸術論の核心となる自然と精神の融合による「質の表現」の理論的解明を通して、芸術的経験によって質を認識する芸術教育哲学としての生成の原理を提案。

幼小連携カリキュラムのデザインと評価

長瀬美子・田中伸・峯恭子編著 2000円
幼稚園教育と小学校教育の独自性を保ちつつ、教育目標に連続性を持たせた連携カリキュラムを構想。小学校の教科別に幼小連携の視点を示した。

教育実践学としての社会科授業研究の探求

梅津正美・原田智仁編著 3800円
実践者と研究者の協働により、実践の事実に基づき授業理論の有効性を評価し、具体的な授業改善・授業力向上の手立てを示していく社会科授業研究方法論の新提案。

人の発達段階を考慮したものづくり教育の体系化

大橋 和正著 9500円
社会におけるものづくりの理論と実際を概観し、人の時間的発達段階とものづくりのプロセスを2次元的に表現。学校教育において系統的に学ぶ方法論を体系化した。

栄養教諭養成におけるカリキュラム開発研究

川越有見子著 13000円
学校給食の始まりから学校栄養職員及び栄養教諭の誕生と役割・職務の実態をつなぐ養成カリキュラム構成を考察。新たな栄養教諭養成カリキュラムを提案する。

ヴィゴツキーの情動理論の教育学的展開に関する研究

庄井 良信著 7000円
情動理論の史的形過程を再考し、その固有な構造的性質を解明。現代教育学の方法論的基礎を問いなおし、情動を包摂した教育理論の実践的応用可能性を探る。

コミュニティスクールの研究

佐藤 晴雄編著 4300円
学校運営協議会を置くコミュニティ・スクールの全国調査の結果と事例を取りあげ、その実態と成果を明らかにしている唯一の関係書。〈待望の重版出来〉

フランスの学校教育におけるキャリア教育の成立と展開

京免 徹雄著 10000円
フランスにおけるキャリア教育について、その成立から現代に至るまでを制度と実践の両面から検討。進路形成に関する機能の変容とその帰結を明らかにする。

社会系教科における評価のためのツール作成の論理

井上 奈穂著 6500円
「社会認識の形成」は如何なる評価によって確定・保障できるのか。社会系教科に見られる理解・解説・説明・判断の授業場面の分析から具体的な評価法作成方略を示す。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風 間 書 房

(URL) <http://www.kazamashobo.co.jp>
メールアドレス pub@kazamashobo.co.jp

学校教育裁判と教育法

市川須美子〔著〕 A5判 328頁 3,600円

解説 子ども条例

荒牧重人・喜多明人・半田勝久〔編〕
A5判 240頁 2,000円



ガイドブック 教育法

姉崎洋一・荒牧重人・小川正人・金子征史・喜多明人・戸波江二・広沢明・吉岡直子〔編〕
A5判 288頁 2,800円

教育法的解釈を学ぶテキスト



子どもの権利 アジアと日本

荒牧重人・喜多明人・森田明美〔編〕
A5判 224頁 2,200円



解説教育六法編修委員会〔編〕
B6判 1248頁 2,600円
基本法令に最新の判例・行政実例・あらましを掲載し、法令の概要・制定背景等を分かりやすく解説。



解説 教育六法 2015

教育委員会制度(地教行法)抜本改訂 学校教育法などの改正
追録増訂
平成27年版

お役立てください。
明日の授業づくりの指針に

必要不可欠
教員間でさまざまな情報の共有が
全国で**授業改善**が進んでいます。
学力の定着や向上を目指し、

学校を取り巻く環境が変化しています。

国の新たな教育政策、
地方の独自性ある教育改革
これらの動向を分かりやすく報道し、
隠れた課題を提起します。

山積する教育課題の解決のヒントに

日本教育新聞

お申込・お問い合わせ

0120-43-3746

ミナヨム

I形態 B3(プランケット)判(12頁) I発行 毎週月曜日(月4回・第5週休刊)

I購読料 月額:2,700円(本体価格2,500円+消費税200円) / 年額:32,400円(本体価格30,000円+消費税2,400円)

Iお支払方法 銀行引落からコンビニ支払、カード決済まで、ライフスタイルにあわせてお支払方法がございます。

★学校運営や教育の現場で直面する問題をわかりやすく解説!

Q & A 学校管理・運営の法律実務

監修 森部 英生(群馬大学名誉教授 高崎健康福祉大学教授)
若井 彌一(上越教育大学名誉教授 京都光華女子大学副学長)

編集 全国公立学校教頭会

校長・副校長・教頭・教職員の職務、学校の組織・運営、児童生徒への教育・生活指導、保護者・地域との関わりなど、学校をめぐる諸問題を幅広く取り上げています。

◆Q&Aによるわかりやすい解説に、参照すべき法令・通知・判例を示してあり、日常の教務・校務に適切・迅速に対処できます。

◆全国の教職員・行政担当者が、教育現場の実情を踏まえ、その経験・知識を余すところなく盛り込んだ学校関係者必携の実務書です。



加除式・B5判・全1巻・ケース付・総頁1,338頁
本体価格 10,000円+税 送料実費

■加除式書籍は、今後発行の追録(代金別途)と併せてのご購入となります。

0120-089-339 受付時間 8:30~17:00 (土・日・祝日を除く)

ホームページ <http://www.sn-hoki.co.jp>

新日本法規 Web で 検索

E-mail eigy@sn-hoki.co.jp

新日本法規出版

グローバルマスで、手を動かしながら、 思考力を身につける活動をしてみませんか？

グローバルマスは、問題解決の過程で使う思考力を育成支援するゲームプラットフォームです。



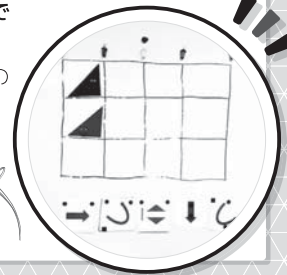
プレイヤーの学び合い

- 学んだ知識を、ゲームをプレイしながら活用できるように設計されています。
「久しぶりに頭を使った!」という小学6年生。
- 学習目標に合わせてレベルデザインされているので、個人個人で進められます。
- 学校など団体利用のためにID一斉発行サービス、指導案が用意されています。



クリエイターの問題づくり

- 算数は与えられた問題の1つの正答を見つけるドリルだと思っていた小学生。「問題も自分で作れるし、答えが2つ以上ある問題もあるんだ!」との気づきがありました。
- 問題作りのキットは無料でダウンロードできます。
- 進行もゲーム仕立てなので、集中して取り組むことができます。



グローバルマスは、工夫するおもしろさを体験することができます。

GLOBAL
MATH

<http://www.globalmath.info>

グローバルマス



宿坊ならではの精進料理
心を込めた四季折々のおもてなし



善光寺永代宿坊

常智院

〒380-0851 長野市元善町478

TEL026(235)4012(代)

FAX026(232)2450

URL ▶ <http://www.jochi-in.or.jp/>

e-mail ▶ jochiin@jochi-in.or.jp

お地蔵さまと山野草のお寺
永代宿坊・常智院は
善光寺参詣の方々にお宿を
提供し、善光寺如来さまと血
縁を結んでいただくよう
なかつぎをさせていただく
お寺です

信州発・大学版「総合学習の展開」

編著・伏木久始・A5判・178ページ
 オンデマンド版：2160円（税込）、電子書籍：1365円（税込）
 信州大学教育学部の研究者有志が、教職科目「総合演習」の授業を担当する教員としてチャレンジした「総合学習」の実践報告の数々がここに収載されている。（オンデマンド版はブックネスト、電子書籍はシナノブック・ドットコムにてお求めください）

信州教育とはなにか 上・下

著者・中村一雄・A5判・上304ページ、下320ページ・5400円（税込） ※分売不可
 故中村一雄先生が『長野県教育史』の編纂に携わっておられたころから念頭に置いていたのが「信州教育とはなにか」ということであった。貴重な教育史の資料を豊富に掲載し、先生方だけでなく一般の方にも読んでほしいという願いから平易な文体でわかりやすく書かれた、先生の生涯にわたる研究の集大成。

教室からの改革を求めて

信州教育への提言 1970—2002
 著者・稲垣忠彦・四六判・270ページ・1890円（税込）
 著者の30余年にわたる信州での講演と論文を取めた。現代の教育の課題からみて、受け継ぐべき信州教育の内容は何か。学校をどう改め、教師はどのように成長しなければならないかを鋭く熱く語っている。職員室でぜひ読みあつてほしい本。

川田殖講演集①②③

著者・川田殖・B6判・各巻約200ページ・ケース入り3冊セット・4012円（税込）
 川田殖先生の信州各地の教育会での講演をまとめた講演集三冊を、著者による注を新たに加え、待望の復刊。初版発行からおよそ30年の時を越え、今なお現代に生きるわたしたちの胸に迫る言葉の数々。教育の神髄を真摯に温かく語る。

発行・一般社団法人信州教育出版社
 長野市旭町1098 電話 026-232-0291

ご注文は (株) しんきょうネット (電話 026-233-1135)
 または amazon.co.jp までどうぞ

信
— Shin —

信州発「信頼」のその先へ

信教印刷株式会社 本社／〒381-0022 長野市大豆島東沖4321 TEL026-222-5222 FAX026-251-1770
 営業所／〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2丁目20番24号(旭印刷株式会社内)
 TEL03-5970-9416 FAX03-5970-9414

<http://shinkyō-p.com/index.html>

チャイルドラインは

18歳までの子ども専用電話です。

4つのやくそく

- ・ヒミツはまもるよ・どんなことでもいっしょに考える
- ・名まえは言わなくてもいい・切りたいときには切っていい

子どもたちが、つらいとき、苦しいとき、寂しいとき、そして、うれしいときにも、子どもたちの声を受けとめる電話でつながる「こころの居場所」になっています。

全国71の団体が連携し、研修を受けたボランティアが、全国の子どもたちのこころに寄り添っています。

『電話の向こうで笑顔になるように』

NPO法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト

チャイルドラインながの

<http://www.na-kodomo.com/child/index.html>



チャイルドラインのやくそく

- ヒミツはまもるよ
- どんなことでも、いっしょに考える
- 名まえは言わなくてもいい
- 切りたいときには切っていい

18歳までの子どもがかけられる電話

チャイルドライン

電話代はかかりません
請求の心配もありません
OK

0120-99-7777

毎週月曜日～土曜日 ごく4時～ごく9時
[年末年始はお休み、年中、埼玉、東京、山梨、愛知からはお昼日もかけられます]

●問合せ：チャイルドライン支援センター TEL 02-5212-1188(事務所) URL <http://www.na-cj.jp>

●お問い合わせ先：NPO法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト
〒460-0001 名古屋市中区栄1-1-1 栄ビルディング10F
TEL 052-231-1188(事務所) FAX 052-231-1189(相談室)
E-MAIL na-cj@na-cj.jp na-cj-ir@na-cj.jp

●お問い合わせ先：NPO法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト
〒460-0001 名古屋市中区栄1-1-1 栄ビルディング10F
TEL 052-231-1188(事務所) FAX 052-231-1189(相談室)
E-MAIL na-cj@na-cj.jp na-cj-ir@na-cj.jp

日本教師教育学会第 25 回研究大会 実行委員会

大会実行委員長 三崎 隆 (信州大学)
大会事務局長 伏木 久始 (信州大学)
大会実行委員 青木 一 (信州大学)
(五十音順) 林 寛平 (信州大学)
藤井 善章 (信州大学)
森下 孟 (信州大学)
谷塚 光典 (信州大学)

日本教師教育学会第 25 回研究大会プログラム

発 行 2015 年 8 月 6 日 初版, 8 月 13 日 第 2 版
発行者 日本教師教育学会
編 集 日本教師教育学会第 25 回研究大会実行委員会
〒380-8544 長野県長野市西長野 6 ーロ
信州大学教育学部 伏木研究室
TEL : 026-238-4220 (FAX 自動切替)
E-mail : jsste25@gmail.com
大会 Web サイト : <http://fkevin.jp/jsste25/>

